

# 即戦力で県政改革!! 発展!!

兵庫県議会議員 神戸市北区選

# 向山好一

●昭和32年生まれ ●県立神戸高校～大阪大学経済学部卒～大阪ガス社員  
●神戸市会議員2期～衆議院議員1期～兵庫県議会議員 ●北区保健司、北神戸  
軟式少年野球連盟顧問、障害者NPO法人顧問、ライオンズクラブ会長等を歴任

## 公約通り、北区の交通問題中心に政策提言。 一般質問で改善を迫りました!!

向山好一のホームページでネット中継アップ中! 向山好一 検索

さる10月2日、向山好一は県議として初めてとなる会派を代表しての一般質問を行い、4月の選挙で公約に掲げた「北区の交通問題の改善」を中心に取り上げました。  
その内容は中面に詳しく記載しておりますが、この問題は私が市会議員、国会議員のときから継続して取り組んでいることであり、その経験や経緯を踏まえて具体的に政策提言を行いました。  
身近で切実な問題について今後とも実現に向けて粘り強く取り込んでまいります。

- ### 向山好一の主な質問項目
- 新神戸トンネル料金減額を含む阪神高速道路の料金体系改善への提言
  - 神戸電鉄粟生線の存続問題の抜本的対策への提言
  - 三宮駅前再開発実現に向けての提言
  - 議員任期の空白の2か月の解消への提言

### 活動風景



駅前のデラシ配り継続中です。 定期的に意見交換会を開催。 井戸知事といるるな団体からの 未来のエネルギー、 皆さまのご意見を県政に活かします。 要望を聞いています。 水素ステーションを視察しました。

### 県議会の傍聴のご案内

●本会派の傍聴には、一般傍聴券によるものと議員の紹介によるものがあります。●一般傍聴券は、本会派開会予定時刻の1時間前から議場棟1階の受付で先着順に交付しています。受付で住所・氏名をご記入の上、傍聴券の交付を受けてください。傍聴券交付には、2号館南玄関からお越しください。

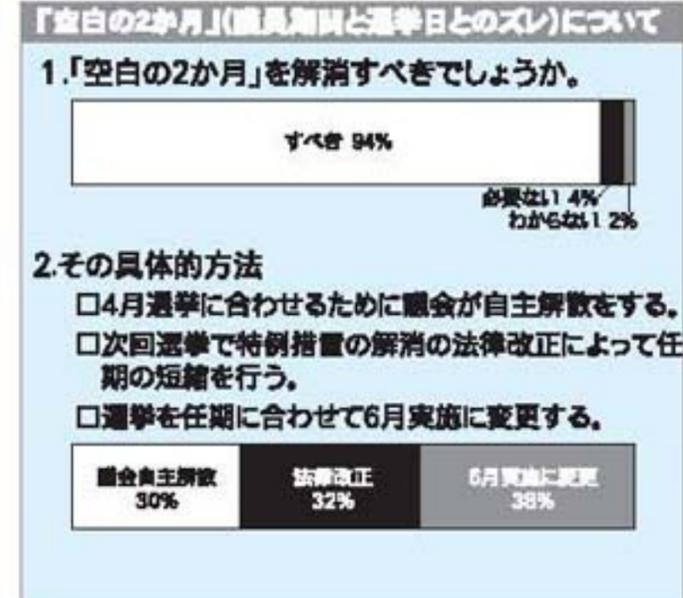
●委員会は、委員会ごとに先着順に10名まで傍聴することができます。委員会開会中は傍聴席に空席があればいつでも入室して傍聴できます。●委員会の開会予定時刻の30分前から、県庁舎3号館(南玄関)ロビーで受付を行っております。傍聴券交付台欄に住所・氏名をご記入の上、傍聴券の交付を受けてください。

県議会ホームページで最新情報をご覧ください! 兵庫県議会 検索 <http://www.hyogokengikai.jp/>

向山好一事務所 〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字六地蔵8-2 TEL.078-681-3631 FAX.078-681-3681  
<http://www.dpj-mukoyama.com> [dpj-mukoyama@coda.con.ne.jp](mailto:dpj-mukoyama@coda.con.ne.jp)

## 兵庫県政に対するアンケート調査の結果報告

8月に実施しました「兵庫県政に対するアンケート調査」に多数の方々からご回答をいただきました。その結果は下記のとおりです。皆さまからいただきましたご意見は、早速、10月の議会質問に反映させていただきます。ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。



## 議員提案で「中小企業振興条例」を制定 県議会改革として画期的な取り組み

県議会では、これまで知事提案の案件を審議することが全てで議会の意思をあらわすことは殆んどありませんでした。そこで、新議会となって議会改革の一環として議員による制度の創設を行いました。  
景気が回復基調にあるとはいえ中小企業や地場産業には依然として経営は厳しく、その恩恵はほとんど波及されていません。今回の条例は、中小企業の振興に重きを置き県政にその義務を課し、中小企業振興に関する施策を総合的に推進するとともに、地域経済の発展、雇用の促進を通じて県民生活の向上を図ることを目的としています。

- ### 条例の特色
- 1 「地域創生の推進」に向け、中小企業、特に小規模企業の振興に積極的に取り組みます。
  - 2 「地場産業の振興」や「商店街の活性化」も対象とし、財政上、金融上、税制上など、行政として執りうる措置を総動員して、中小企業の振興を推進します。
  - 3 計画の策定等にあたっては議会の議決を必要とし、また、実施状況の報告も求めるなど、中小企業の振興に議会も積極的に関与していきます。

## NEWS 民主党は、水岡俊一さんを次期参議院議員選挙(兵庫県選挙区)の公認予定者として決定しました!!



### 参議院議員 みずおかしゅんいち

# 水岡俊一

●1958年6月 兵庫県竹野町生まれ。  
●兵庫県立豊岡高校～国立奈良大学教育学部卒業～1980年4月三木市で教職につく。  
●2004年 第20回参議院議員選挙(兵庫県選挙区)に初挑戦。910,114票の得票でトップ当選。  
●2010年 第22回参議院議員選挙(兵庫県選挙区)にて515,541票の得票で当選(2期目)。  
●2011年9月～2012年10月 内閣総理大臣補佐官(野田内閣)。  
●2013年10月～12月、2014年1月～9月 参議院内閣委員長。

環境委員会理事、予算委員会委員  
災害対策特別委員会委員  
東日本大震災復興及び原子力問題特別委員会委員  
民主党次の内閣ネクスト環境副大臣  
民主党兵庫県支部連合会代表  
水岡俊一ホームページ <http://www.mizuoka.net>



# 議会報告

# 即戦力 即戦力で議会活動を展開中!!

向山好一は9月議会で地元の問題に具体的政策提言を行いました。



**兵庫県議会議員** **神戸市北区** **向山好一**

## 新神戸トンネルの料金値下げに向けて 阪神高速道路の料金区分の改善を要求!!

私が与党国会議員当時、長年懸案取り組んできました新神戸トンネルの阪神高速道路への移管が平成24年10月に実現し、料金の低減と乗り越し料金の解消が図られました。

しかし一方で、軽自動車や大型車の料金が値上がりするという逆転現象が起こりました。それは、他の高速道路の料金が5区分程度あるのに対し阪神高速は2区分しかないことに起因します(下表参照)。

私はこの問題を9月議会に取り上げ、阪神高速の料金区分を早期に5区分に変更すべきだと訴えました。それが実現すれば、軽自動車と大型車の料金が全ての阪神高速道路で値下げされます。

兵庫県は阪神高速道路(株)の大株主ですから物言える立場にあります。私は、改善の実現めざしこれからも粘り強く取り組んでまいりますので、皆さまのサポートをよろしくお願い致します。

### 阪神高速と他の高速道路の料金区分の違い

| 区分    | 阪神高速       | 他の高速道路          |
|-------|------------|-----------------|
| 大型特殊  | 1030~1850円 | 普通車の2.75倍を基本    |
| 大型    |            | 普通車の1.65倍を基本    |
| 中型    | 510円~930円  | 普通車の1.2倍を基本     |
| 普通車   |            | 40当り24.6円の対距離料金 |
| 軽自動車等 |            | 普通自動車の0.5~0.8倍  |

### 新神戸トンネルの阪神高速移管に伴う料金の逆転現象

| 区分   | 移管前  | 移管後   |
|------|------|-------|
| 軽自動車 | 400円 | 500円  |
| 大型   | 950円 | 1000円 |

\* 移管当時の料金

## 神戸電鉄粟生線の存続に向けて

神戸電鉄粟生線は、平成24年度から5年間の期限で兵庫県はじめ沿線自治体の支援によって赤字から何とか脱却できています。しかし、支援期間が終わる28年度以降は大幅な赤字に転落する見込みです。言い換えれば、兵庫県の支援が切れる1年後には粟生線の廃線がグッと現実味をおびてきます。

廃線止むなしの声もありますが、年間700万人の乗降客を考えると沿線のみならず地域全体に与える影響額は計り知れません。私は、少子高齢化、車社会の進展などからくる構造的問題を解決するには運営のやり方を抜本的に変えるしかないと思っています。

全国で同じような存続の危機を迎えている公共交通機関はたくさんあります。最近、それに対応できるように法律が改正され、また新法が出来て新たな対応策が推進されています。その具体例が「上下分離方式」で、その導入によって再生された成功例が各地で出てきています。

私は、公的負担を最小限に抑え、経営者の責任を明確にし、そして地域を巻き込んだかたちでの上下分離方式を具体例に提案しました。

これからも粟生線の存在に向けて政策提言を続けてまいります。

上下分離方式とは…土地駅舎など施設の施設を自治体などの公的機関が保有し、運営は民間企業が公的機関より賃借することによって行う方式。この方式により運営会社は固定費が削減でき経営が安定化されるが税金投入という公的負担が発生する。

## 激しい都市間競争に打ち勝つために。三宮駅前再開発の実現に向けて具体的に政策提言



観光都市・神戸、その賑わいの中心地・三宮駅周辺は40年間ほとんど変わっていません。大阪や京都は時代とともに様変わりし、その差は歴然としています。私は市選時代からこの重要性を訴え続けてきましたが、震災の影響もあって具体的な動きは見られませんでした。

最近、ようやく神戸市は三宮駅前再開発の基本構想を打ち出しました。人口減少社会に突入しこれから激しさを増す都市間競争に勝ち残り持続して賑わいをもち続けるためには変化し続けるしかありません。その意味で、遅ればせながらもこの基本構想は必ず成し遂げなければいけないと思っています。しかし、そのためには周辺住民の協力と併せて民間活力の導入が不可欠です。

私は、そのインセンティブ策を具体例に提案しました。三宮地区はもともと国から「都市再生緊急整備地域」の指定を受けて若干の特例を受けています。最近、その中から特に重要なエリアを「特定再生地域」と指定し、更なるインセンティブ策を与える制度が出来ました。私は、兵庫県、神戸市、関係団体が結束して国に対して三宮駅周辺を「特定再生地域」とするよう取り組むべきと強く訴えました。この制度適用なしで三宮駅前再開発は成功しないと思っているからです。

三宮再整備、市とともに 特定都市指定目指す

兵庫県の兵庫三知事らは2日、三宮駅前再開発の再開発と一体的な開発の推進を促す。特定再生地域指定を国に求め、国からの支援を受け、三宮駅前再開発の再開発と一体的な開発の推進を促す。

※国からの支援は新年度でも確保されました。

## 「空白の2か月」が解消方向へ

兵庫県下には兵庫県議会、神戸市会、西宮市議会、芦屋市議会および芦屋市長選挙と5つの選挙が震災の影響から選挙の時期と人気の開始との間に2か月のズレが生じています。4年毎の選挙のたびに有権者には分かり難い状況が続いており、私はこの「空白2か月」の解消を選挙公約の1つにあげました。

私は、今回の県議会質問でこの問題を取り上げ、下表に示す3つの方法のメリット・デメリットを説明しながら、今任期中にいずれかの方法で解消すべきと強く訴えました。

現在、議会内に「検討会」が設置され今任期中の解消を前提として議論がスタートしています。

### 「空白の2か月」の解消方法

| 方法                 | メリット             | デメリット             |
|--------------------|------------------|-------------------|
| 4月選挙実施のため議会が自主解散する | 法律等改正の必要がなく実施が簡単 | 不祥事との混同、全員理解の困難性  |
| 次回選挙を法律によって任期を短縮する | 法律による正当性、4議会同時解決 | 国会での法律対応といった不確定要素 |
| 選挙を任期に合わせて6月に実施する  | 議員資格との整合性が図られる   | 統一選挙との離別による投票率の低下 |